

2024年4月24日

## 2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 文化学習協同ネットワーク

代表者・役職名 氏名 代表理事 佐藤洋作

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成プロジェクト名

みたか上連雀無料学習会運営事業

## 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

1999年「一般社団法人 協同総合研究所」の支援を受け特定非営利活動法人格を取得。2010年から三鷹市を始め相模原市、練馬区での学習支援事業を実施、2013年には三鷹市、相模原市、練馬区にて厚労省事業「地域若者サポートステーション」を実施、多摩地域を中心に学齢期の子どもたちから若者までの支援事業を展開、今日に至る。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

国民生活基礎調査に基づく、相対的に貧困の状態にある子どもの割合は11.5%(2021年)となっており、また義務教育年齢の子どもたちの不登校は昨年末に29万9千人を数え過去最高を更新している。合わせて直近の2024年1月のデータでは多摩市部における日本人の人口が年間約11500人減少する中、外国人人口は過去最高の102,977人を記録し、外国人は人口、人口比とも過去最高となっている。そうした社会的リスクを抱える子どもたちに社協や外国人支援団体、学習支援NPOが連携し地域での見守りネットワークを形成する。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

三鷹中央学園地区において地域の公会堂を借りて希望者を対象に週1回の無料学習会を開催する。大学生と市民のボランティアで子ども1~2人にスタッフ1人という体制で学習支援を行っていく。学習の中身は宿題や学校のワークを中心にし、学年を遡っての学習が必要な場合はタブレット等を用いて学習支援を行う。1回の学習会の時間は約90分程度に設定し、最後の30分弱を子ども同士。スタッフと子どもたちとの交流を目的にお楽しみ会のようなものも実施する。子どもたちの交流と社会教育のため年1以上のイベントも実施する。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

社協、外国人支援団体、文化学習協同ネットワークの3団体が連携することで三鷹市内で各々の専門性を活かしたネットワークを構築することができた。具体的には社協を通じて市民のボランティアを募ったり、学習会の活動を市民や行政に発信していくことができた。またピナットとの連携では市内の支援を必要とする外国にルーツを持つ子どもたちに支援を届けることに繋がった。文化学習協同ネットワークからは学習会運営のノウハウと学生ボランティアが提供さ

れ、当初の目標以上の成果を出すことができた。(学習会実施回数48回、利用者登録9名、ボランティア参加者9名(延べ104名)、3月と8月にイベントを実施し延べ15名の参加)

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

それぞれ三鷹市内で専門性を持って活動している、みたかボランティアセンター、外国人支援団体のピナット、同じくNPO 法人の文化学習協同ネットワークとの連携で単なる学習支援ばかりでなく市民を巻き込んだ地域の子どもたちの見守りの仕組みづくりにつながることを期待している。課題は資金を毎年単年度の助成金に依拠しているが継続的な資金の確保が必要だと思っている。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

